

令和3(2021)年度 農地バンク事業推進方針

令和3(2021)年6月14日
栃木県農政部
栃木県農地バンク
(一社)栃木県農業会議

〔基本方針〕

農地集積・集約化を加速するため、農地利用最適化推進委員等と連携し、実質化された人・農地プランの実現に向けた地域ぐるみの農地利用最適化の取組と併せ、農地バンク事業の更なる活用を推進する。推進に当たっては、農業農村整備事業、土地利用型園芸の振興、担い手の確保・育成の取組等の関連施策と十分な連携を図るものとする。

1. 担い手への農地集積目標 5,000ha/年

2. 主な取組

(1) 実質化された人・農地プランの実現と連携したバンク事業の推進

(ア) 人・農地プランの実現に向けた取組支援と機構集積協力金の活用

○実質化された人・農地プランの実現に向け、地域の農地の利用実態や農地利用の将来方針に基づく具体的な担い手への農地の集積・集約化の取組について、人・農地プラン区域での話し合いを支援するとともに、機構集積協力金の活用と併せて農地バンク事業を推進

R3(2021)年度(目標) : 25市町

(2) 推進体制の強化

(ア) 農地利用最適化推進委員等との連携活動を強化

○農地利用最適化推進委員等の現場活動を通じ、農地バンクを通じた担い手への農地の貸付けを推進

R3(2021)年度(目標) : 25市町

(イ) 関係機関の連携を強化

○県、農地バンク、県農業会議、JA中央会、県土連との連携を強化し、5者協定を締結。

(3) 地域の話合いによる農地バンクを活用した担い手への農地集積・集約化の取組

(ア) 重点支援地域における取組を通じ、担い手への農地集積・集約化を推進

○重点支援地域

・農地整備事業実施地区

R3(2021)年度(目標) : 22地区

・整備事業完了地区等のフォローアップ対策地区

R3(2021)年度(目標) : 6地区

・土地利用型園芸導入地区(メガ産地・展開加速化)

R3(2021)年度(目標) : 38地区

・集落営農の法人化・広域営農システム展開地区

R3(2021)年度(目標) : 7地区

(イ) 地域の代表的な農業者への働きかけ活動による、担い手への農地集積・集約化を推進

○想定される地域の代表的な農業者

・集落営農代表者、農業士等

R3(2021)年度(目標) : 25市町

(ウ) 大規模担い手への農地集積・集約化を推進

○農地の面的集積をめざす大規模農業法人等の取組を支援

・大規模農業法人等の経営規模拡大、農業参入企業への支援(参入した企業の農地バンク活用)

R3(2021)年度(目標) : 1地区